

教科シラバス(1年芸術科(音楽))

教科名	音楽	科目名	音楽Ⅰ	学年	1年(選択)	単位数	2
教科書と副教材			高校生の音楽 1				
1. 科目目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。						
2. 学習方法	<p>高校音楽では、中学校との関連を図りながら、「表現」及び「鑑賞」の2つの領域にわたって学習します。「表現」は歌唱・器楽・創作の活動があげられます。いずれも人間の生きる営みとしての音楽を享受し、自己表現することが重要です。一人一人がのびのびと個性を主張し、かつ全体の調和を追及する中で、感動し、感性を高め、創造的な表現の能力を伸ばすことが大切です。「鑑賞」はわが国および諸外国の多様な音楽に触れることにより、音楽文化への理解を深め鑑賞能力を高めるものです。</p> <p>① 音楽Ⅰでは、中学校音楽との関連を図りながら、表現と鑑賞の力をさらに伸ばします。</p> <p>② 様々な音楽活動を通して、人間関係の基盤を形成するとともに自己を確立し、「生きる力」の原動力を育むコミュニケーション能力を身に付けます。</p> <p>③ 音楽活動に宿る連帯感に支えられ、感動体験の共有をめざし、集団の中における自己表現力を身につけます。</p>						
3. 学習評価	評価は次の4つの観点から行います。						
	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力			
	音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を持ち、意欲的に音楽活動しようとしているか。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取って創造的な音楽活動の工夫をしているか。	自己のイメージを表現するための技能を身に付けてそれを生かして創造的に表現しているか。	多様な音楽に対する理解を深め、創造的に鑑賞しているか。			
	授業態度 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況 (観察・聴取)	実技課題進捗状況 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 創作曲	学習プリント			
評価は、学習の取り組み状況(観察・聴取)、実技課題進捗状況、学習プリント、授業態度を総合的に判断して決定します。定期考査は行いません。							
4. 学習サポート	<p>君は何にどこを動かされるだろう 夜空にまたたく星、潮騒、風にそよぐ木の葉のささやき 愛、微笑み、涙……</p> <p>君は何にどこを動かされただろう ところを音に託したもの それが音楽</p> <p>君は音楽に何を求めるのだろう 夢、希望、愛 安らぎ、潤い、憩い、充実……</p> <p>君は音楽から何を心得のだろう やさしさ、ひらめき、感動、勇気</p> <p>心の琴線に触れた音楽は、君の感性をゆさぶる</p> <p>音楽が生まれる 自由な心が生まれる 聴いて、知って、感じて……</p> <p>君の音楽は君自身 君のこころを みんなのこころを 音楽で…… いっしょに音楽しよう</p>						